

職業講話

11月6日（木）総合的な学習の時間にキャリア教育の一環として1年生，2年生を対象とした職業講話を開催しました。今年度は獣医師、パティシエ、消防士の方々を講師として招聘し、講話を受けました。



お忙しい中、緑中学校の生徒のために、講話をしてくださった講師の先生方には、このような機会をいただき、心から感謝申し上げます。

講師の先生方

あすなる動物病院 院長

獣医師 小島 早織 さん

お菓子工房 Sala

オーナーシェフ 外村 貞子 さん

厚木市消防署玉川分署長

消防司令長 香川 勇 さん

職業講話の様子(獣医師)



獣医師となるために「志を持つこと」や「決めたらあきらめないこと」また、「感謝の気持ち

を持つこと」などをお話されました。特に獣医師の仕事は、動物が自身で病気を治す手助けをすることであり、そのためには絶えず獣医学などを勉強し続ける必要があります、終わりはないこと。獣医という職業をとおして人の生活に貢献していく職業人としてのあり方についてもお話してくださいました。

職業講話の様子(パティシエ)



ご自身が阪神大震災当時、「人生はいろいろなことが起こり、夢を叶えられないうちに人生を閉

じてしまうこともある。」という人生観を持たれたことで、パティシエとなる決心をされたことをお話されました。「お菓子作りにたゆまぬ努力を積み重ねて、技術を身につけなければただの知識である。」という職業人としての名言もいただきました。

職業講話の様子(消防士)



職業人として「思いやりの気持ちを持つこと」の大切さをまずお話しになりながら、消防士とい

う仕事が多く領域と職種に関わっていること。大震災時などでの広域災害時の派遣システム、人の命と社会を守ることの重さとやりがいについて、また、中学校や高校などで野球選手を経験している消防職員が意外に多いことなどについてもお話くださいました。

休憩時間に質問する生徒の様子



休憩時間にも講師の先生方に熱心に質問する生徒の姿が多く見られました。

それぞれの講師の方から職業をとおして社会に貢献すること。職業を通して講師の方が社会を見ていただけること。職業人として学び続けることの大切さなど、働くことや学ぶことに対する意欲が高まったようです。